**学会「課題研究(第5次)」メンバー募集！**

2020年度から2年間，以下のテーマで新たに「課題研究(第５次)」を行うことになりました。今日の教育課題に対して家庭科教育はどのようにかかわる必要があるのか追究しながら，家庭科の学びを問う研究を行います。希望する方は，ふるってお申し込み下さい。

◇テーマ：SDGｓ時代の家庭科教育

◇趣　旨：持続可能な開発目標（SDGs）（2015～2030年）では、MDGｓの「人間開発アプローチ」や「人権に基づくアプローチ」だけでなく、「自然生存権」への配慮が重要になります。ライフスタイルの変容が求められるSDGs時代において、「誰も置き去りにしない（no one will be left behind）」を基本理念に2030年の世界を見据え、家庭科教育がどのように貢献できるか解明したいと思います。学会課題研究として、３つのアプローチを考えました。第一は、ジェンダー平等と家庭科教育の「主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる」ことを結んだ研究です。第二は、持続可能な社会に向けて、「自分自身と社会を変容することを学ぶ」（ユネスコ2014）、衣・食・住、消費と環境の家庭科教育の研究です。第三は、第4次課題研究をふまえ、SDGsを目指す家庭科教員養成に関する研究も不可欠であると考えました。

以上、学会課題研究ならではの協働性を生かした理論や信頼性の高いデータに基づく研究を期待しています。

①　ジェンダー平等を目指す家庭科教育の理論研究や調査・実証研究（児童生徒の実態、

授業の検証等）

②　衣・食・住、消費と環境の実践的・体験的な学習活動を生かしSDGｓを目指す家庭科

　　教育の理論研究や調査・実証研究（児童生徒の実態、授業の検証等）

③　SDGｓを目指す家庭科教員養成に関する調査･実証研究（学生や教員の実態，研修やカリ

キュラムの検証等）

◇研究期間：2021年１月～2022年12月（2年間）

研究メンバー決定後、研究に関する説明会を開催します（2020年

12月頃を予定）。詳細は決定次第、応募者にご連絡します。

◇研究助成：各グループ年間10万円の予定（会議費，通信費，資料費等。交通費の使用は不可）

日本家庭科教育学会（2020.8）

**【応募について】**

・資格　正会員・学生会員 （但し， 2018～2020年度の第４次課題研究メンバーは応募できない）

・募集期間と締切　2020年8月17日（月）～2020年9月15日（火）

・方法　以下を記入の上，事務局までＥメールで申し込んで下さい。

１）氏名・会員番号・会員の種類（正会員・学生会員）

２）所属

３）連絡先（メールアドレス・電話番号・住所）

４）取り組みたい研究の希望番号（上記①～③）および研究方法などのキーワード（３語程度）

　　（※グルーピングやテーマ調整のため，第１回研究会で応募者に一覧表を配布する

可能性があります。）

・申し込み先　日本家庭科教育学会事務局E-mail　kateika@amethyst.broba.cc

第５次「課題研究」メンバー申込書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １）氏名・会員番号 | | （会員番号）    No. | | □正会員  □学生会員  （該当する方に印をつける） | |
| ２）所　属 | |  | | | |
| ３）  連絡先 | メール  アドレス |  | | | |
| 電 話 番 号 |  | | | |
| 住　所 | 〒 | | | |
| ４）取り組みたい研究の希望番号（チェックを入れて下さい)および研究方法などのキーワード（３語程度） | | □①ジェンダー平等と家庭科教育の児童生徒を対象とした調査・実証研究や理論研究  □②衣・食・住、消費と環境の実践的・体験的な学習活動を生かしたSDGｓを目指す家庭科教育の調査・カリキュラム研究  □③SDGｓを目指す家庭科教員養成に関する調査･実証研究（学生や教員の実態，研修やカリキュラムの検証等） | | | |
|  |  | |  |

※１）～４）の必要事項が記入されていれば，この様式でなくてもかまいません

日本家庭科教育学会（2020.8）